



沖縄本島における 共同輸送の推進について

沖縄における物流効率化の推進については、沖縄地方総合物流施策推進会議において、共同集配システムの導入等による陸上貨物輸送の効率化、物流拠点及び物流支援ネットワークの整備、国際物流機能の整備・充実、物流分野における情報化の推進の4項目を重点事項とした「沖縄における物流効率化推進アクションプログラム」の策定を平成11年6月に行いました。

運輸部においては、「共同集配システムの導入等による陸上貨物輸送の効率化」の実現に向けて取り組んでおり、平成10年度、平成11年度に那覇から北部地区向け貨物の共同輸送実験事業を行いましたので、その概要を紹介します。



1 目的

離島県沖縄にとつて生活、産業物資の安定供給・確保等を含めた物流効率化への取組みは極めて重要な課題となっており、トラックによる陸上貨物輸送の効率化が期待されています。

現在、沖縄本島北部地区においては、貨物の集配拠点の集中する那覇・浦添地区からの距離の長さ、個々の運送事業者の配送による積載効率の低さからくる非効率な輸送が問題となっています。

このような中で、共同輸送事業推進のためのシステム構築その他取組課題の円滑な解決方法を検討していくことを目的とし、平成10年度（航空貨物）、平成11年度（海上貨物）に那覇から北部地区向け貨物の共同輸送実験を行いました。

2 実験事業内容

「愛称／やんばる路共同輸送実験」

平成10年度

事業名

航空貨物による北部地区共同輸送

3 実験事業結果

送の実験事業

対象地区

恩納村及び金武町以北

事業の期間

平成10年10月5日～12月4日

（2ヶ月間）

事業の概要

北部向けの航空貨物について那覇空港から大型車両で名護市の共同輸送センターに輸送し、六地域に仕分けを行い、それぞれ配送を行いました。

平成11年度

事業名

海上貨物による北部地区共同輸送の実験事業

対象地区

恩納村及び石川市以北

事業の期間

平成10年10月2日～12月30日

（2ヶ月間）

事業の概要

北部向けの海上貨物について、那覇市の共同輸送センターへ搬入し、北部向け三地域に仕分けを行い、それぞれ配送を行いました。

3 実験事業結果

航空貨物（平成10年度）、海上貨物（平成11年度）いずれの実験においても、程度の差はあるものの北部向け配送車両の軽減、配送時間等の短縮化が図られたことにより、道路混雑の緩和、二酸化炭素などの排出力

軽減による環境問題等への対応が可能となることが実証されました。



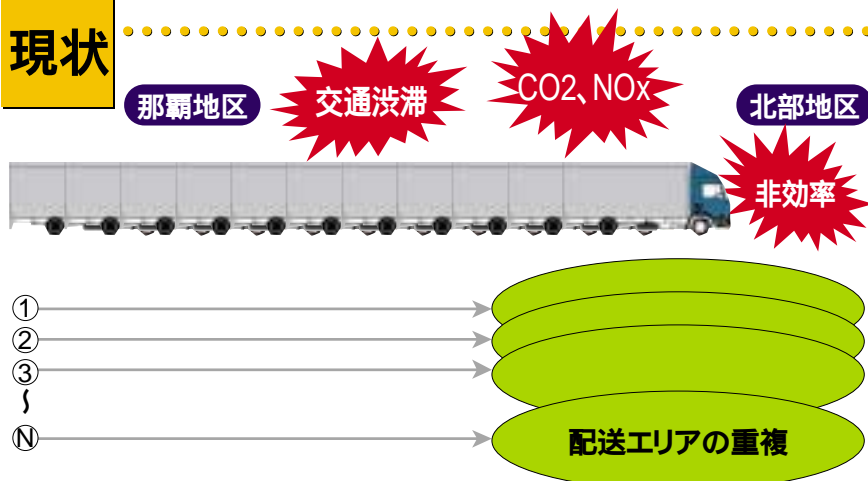
4 今後の課題

本来、海上貨物においても、「航空貨物ターミナル」のような那覇港に隣接する施設や北部の共同配送施設において、集荷仕分け作業が行えれば、効率化が図られると考えられることから、那覇（空）港に隣接する貨物ターミナルや総合物流センターの建設、北部中継物流拠点の施設面の充実が重要となります。

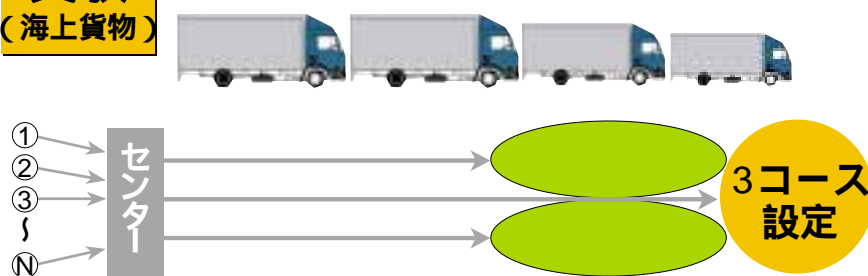
沖縄本島中南部の物流効率化については、貨物の六割近くが集中する那覇を中心とした都市部において共同輸送実験を行い、陸上貨物輸送の効率化に向けたシステムを構築することとしております。

北部地区共同輸送のイメージ

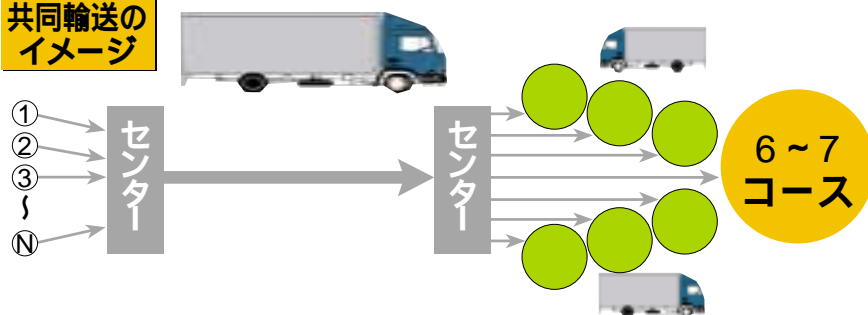
現状



実験 (海上貨物)



将来的な 共同輸送の イメージ



システム構築
↓
効率化!!

